

発刊にあたって

青森県では、本県経済及び県民生活の現状や課題などを県民の皆様へ報告することを目的として、昭和 25 年度(1950 年度)から「青森県経済白書」を、昭和 44 年度(1969 年度)から「県民生活白書」を作成し、平成 14 年度(2002 年度)からは 2 つの白書を統合して「青森県社会経済白書」を作成してきました。

「青森県社会経済白書」は 2 部構成となっており、第 1 部では、本県経済の現状と課題を明らかにする観点に加え、毎年度刊行を重ねることによりその資料的価値を高めていくという趣旨と、毎月公表している「青森県経済統計報告」の年次版としての位置づけのもと、本県経済の動向を分析・記録しています。

第 2 部では、その時々的重要な課題を特定テーマとして選定し、多角的に分析を行い、課題解決に向けた方向性を提示してきました。今年度は「コロナ禍収束後における新たなビジネスモデルの構築に向けて」を特定テーマとし、新型コロナウイルス感染症による社会経済の変容や本県経済に与えた影響を整理し、コロナ禍収束後の反転攻勢に備えるとともに、人口減少下にあっても、本県の経済規模を維持・拡大していくためのビジネスのあり方について考察しています。

新型コロナウイルス感染症が社会経済にもたらした様々な変容は、多くの課題等を顕在化させている一方で、こうした状況を契機と捉え、新たな取組に歩を進めるきっかけにもなり得るものと考えています。県民の皆様にとってこの白書が、本県の社会経済を御理解いただく一助となり、様々な活動や取組を進めていく上で役立つものとなれば幸いです。

最後に、お忙しい中、資料の提供等に御協力いただいた関係者の皆様、また、専門的見地からの御意見とともに御寄稿をいただいた「青森県地域経済研究会」の皆様にご心から感謝申し上げます。令和 3 年度版「青森県社会経済白書」発刊にあたっての挨拶といたします。

令和 4 年 3 月

青森県知事 三 村 申 吾